

スカパーJSATグループ

2007年度第1四半期業績概況と今後の事業展開

2007年 8月 9日

スカパーJSAT株式会社

将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、これらは、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

<両社共通のリスク>

- ・当社グループのサービスに対する需要の低下のリスク
- ・当社グループの事業内容および事業に係わる法的規制等が、将来において改正または新たに制定された場合に当社グループの事業が制約を受けるリスク
- ・新規事業が予定どおりに展開できないまたは業績に貢献しないリスク
- ・通信技術のデジタル化に伴う画像や音声対応の圧縮技術の高度化、その他の通信、放送、衛星等に関わる技術革新の進展に伴う業績変動リスク
- ・今後、関連分野における戦略的提携もしくは他社との共同関係の構築が想定通りに展開できないまたは、実現できないリスク
- ・為替変動および金利変動等の経済的状況の変化に係るリスク及びそれらが当社グループの資金調達に影響するリスク

<主としてJSATの事業に係るリスク>

- ・同社グループの主要顧客の利用水準の低下または業績変動に伴うリスク
- ・通信衛星が故障、機能低下または稼働停止するリスク
- ・衛星の打ち上げ失敗もしくは遅延または正確な軌道投入失敗のリスク
- ・予備衛星の効果的なバックアップ体制が構築できないリスク
- ・衛星の軌道位置および使用する周波数等に係る国際間調整が遅延した場合または不調に終わった場合に当社グループの事業を予定どおりに展開できないリスク
- ・将来の通信衛星の調達に係るコストが、衛星の仕様、為替レート、保険マーケットの状況等により予定した支出額を超過する可能性があること
- ・経済的に見合うまたは付保が必要な事故を全て対象とする保険を得られないリスク
- ・国際的な事業提携が実現しないまたは予定どおりの成果を生まないリスク
- ・重要な子会社・関連会社の事業に関し、米国にて展開する事業が米国市場における受注が想定通りに得られないこと等によって当社の想定どおりの結果を産み出さない可能性があること
- ・日本国内および欧米ならびにアジア地域における競争激化が当社グループの財政状態および業績に影響を及ぼすリスク

<主としてスカパーフェクTVの事業に係るリスク>

- ・同社の事業領域をとりまく経済情勢、特に消費動向に関連するリスク
- ・放送法、通信法等の法制度における変化。特に当社の業務に対する規制または規制の提案が行われた場合や、競合する事業者が新規に事業参入した場合のリスク
- ・デジタル技術分野で顕著な急速な技術革新、また放送ビジネスで顕著な主観的で変わりやすい顧客嗜好等を背景とする激しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる番組やサービスを当社が開発し継続的に提供していく能力に関するリスク

主なトピックス

<業績>

- 初のグループ連結業績発表。統合に伴うのれん、税効果を考慮
- 2007年度中間期および通期の当期純利益の予想を上方修正
- 営業収益を、「衛星放送」「衛星通信」「有線放送」「その他」の4セクターに区分
- 中間配当実施に、配当予想を変更

<今後の事業展開>

- お客様サービスの強化に向け、「お客様満足向上委員会」立ち上げ
- 2007-08シーズンのセリエA放送権獲得とWOWOWとのサッカーセット協力
- 首都圏のスカパー！光サービスエリアの拡大
- 2007年9月上旬にJCSAT-11の打上げ予定

2007年度第1四半期 グループ業績概況

2007年度第1四半期 連結損益概要



(単位:百万円)

	スカパーJSAT	JSAT (連結)	スカイパーフェク TV (連結)	グループ連結
営業収益	400	9,711	22,565	30,162
営業利益	6	2,470	608	3,022
経常利益	△39	2,862	805	3,313
当期純利益	△39	2,028	683	6,170
1株当たり当期純利益(円)	△11.64	—	—	1,803.67

* 1株当たり当期純利益は、持株会社期首株式数から自己株式相当分を控除した株数で試算したものです。

EBITDA	7,897
EBITDAマージン	26.2%

[スカイパーフェクTV: 加入関連指標]

新規個人契約件数 (千件)	128	個人解約率	11.6%	個人契約純増 (千件)	22
------------------	-----	-------	-------	----------------	----

のれんと税効果会計

<のれん>

- のれんについては、JSATグループの資産、負債を時価評価した上で、会計上の考慮事項を加味し、暫定的に146億円と算定
- 法定の5~20年を前提に衛星の設計寿命及び燃料寿命などを考慮し、15年の償却期間を決定
- 9.7億円／年(暫定値)
- 2007年度末まで精査を継続し、のれんを最終決定の予定

<税効果会計>

- スカイパーフェクTVの税務上の繰越欠損金(2006年度末217億円)と中期経営計画に基づく今後の利益水準を考慮
- 2007年度第1四半期では法人税等調整額31億円を前提に、税金費用は△23億円を計上
- 当期純利益予想の上方修正へ

2007年度1四半期 セクター別連結営業収益内訳



(単位:百万円)

	2006年度 第1四半期*5	構成比	2007年度 第1四半期	構成比
衛星放送*1	22,812	80.0%	23,541	78.1%
衛星通信*2	3,880	13.6%	4,226	14.0%
有線放送*3	975	3.4%	1,527	5.1%
その他*4	855	3.0%	867	2.9%
営業収益合計	28,523	100.0%	30,162	100.0%

*1 「衛星放送」には、JSATの放送関連営業収益、スカイパーフェクTVの衛星放送関連営業収益(自主コンテンツ収入を含む)、データネットワークセンター・スカパーマーケティング・PPVJ・サムライTV・eTEN・マルチチャンネルエンターテインメントの営業収益を含みます。

*2 「衛星通信」には、JSATの通信関連営業収益及び衛星ネットワーク・JSAT Int'lの営業収益を含みます。

*3 「有線放送」には、スカイパーフェクTVの有線放送関連収入およびオプティキャスト・ケーブルテレビ足立の営業収益を含みます。

*4 「その他」のうち主なものは、スカイパーフェクTVの広告収入、JSATの管制受託関連営業収益及びスカパーウェルシンク・スカパーモバイルの営業収益等です。

*5 2006年度の内訳は比較用の試算ベースで、監査を経ていません。

2007年度第1四半期 主要子会社業績概要



(単位:百万円)

名称	JSAT	スカパー・ フェクトTV	JSAT Int'l	衛星 ネットワーク	DNCC	スカパー・ マーケ ティング	PPVJ	オプティ キャスト	ケーブル テレビ 足立	スカパー・ ウェルシンク	スカ パー JSAT	グルー プ 連結
事業 内容	衛星 通信	放送プ ラット フォーム	衛星 通信 回線の 販売	衛星 通信 回線の 再販等	顧客 管理	受信機 供給	放送	光ファイ バ利用し た映像 配信	ケーブル テレビ	コンテ ンツ 開発・ 投資	持株 会社	
保有 割合 (%)	100.0	100.0	100.0	92.0	51.0	100.0	85.0	100.0	77.3	100.0	—	—
営業 収益	8,472	19,687	475	1,166	4,256	1,117	3,231	883	828	109	400	30,162
経常 利益	2,481	1,870	248	97	147	203	53	△1,258	159	△32	△39	3,313
当期 純利益	1,779	1,673	160	56	134	178	29	△865	80	△32	△39	6,170

*1 上記以外の連結対象子会社は、サムライティービー、スカパー・モバイル、マルチチャンネルエンターテイメント、eTEN、及びオプティキャストの子会社であるオプティキャスト・マーケティングとインフォメーションネットワーク郡山です。(連結子会社計16社)。

*2 持分法適用会社は、システム・クリエイト、ジェイ・スポーツ・ブロードキャスティング、日活他、計5社です。(ただしコンテンツ制作委員会を除く)。

2007年度 業績予想、配当予想の修正

(単位:百万円)

2007年度 見通し	スカパーJSAT 連結 ＜前回＞		スカパーJSAT 連結 ＜修正後＞	
	中間期	通期	中間期	通期
営業収益	60,000	125,000	60,000	125,000
営業利益	2,000	5,500	4,000	5,500
経常利益	2,000	5,000	4,000	5,000
当期純利益	1,500	5,000	7,000	8,500
1株当たり配当金	—	1,000円	500円	計 1,000円

* スカパーJSAT(株)単体の業績予想は中間期、通期とも前回業績予想から変更なし。

＜参考：スカイパーフェクTV 加入・解約見通し＞

	2006年度 実績	2007年度 見通し(変更なし)
新規個人契約件数(千件)	457	600
個人解約率(%)	10.2%	9.2%
個人契約純増数(千件)	93	252
個人契約件数累計(千件)	3,628	3,880
総登録件数累計(千件)	4,231	4,483

内訳

	25-27万件
	28-30万件
	6-8万件 (有線系全体 7-9万件)

2007年度第1四半期 連結貸借対照表概要



(単位:百万円)

	JSAT(連結)	スカイパーフェクTV(連結)	スカパーJSAT(連結)
流動資産	32,455	67,581	79,231
固定資産	136,240	56,580	203,405
資産合計	168,696	124,161	282,636
流動負債	16,979	29,412	41,201
固定負債	64,120	3,218	66,777
負債合計	81,100	32,630	107,978
資本金	53,769	50,083	10,000
資本剰余金	21,278	41,626	177,287
利益剰余金	11,910	756	5,179
自己株式	—	—	△19,165
株主資本合計	86,958	92,467	173,300
評価・換算差額等	437	△4,393	△2,565
新株予約権	—	—	57
少数株主持分	199	3,457	3,864
純資産合計	87,595	91,530	174,657
負債純資産合計	168,696	124,161	282,636

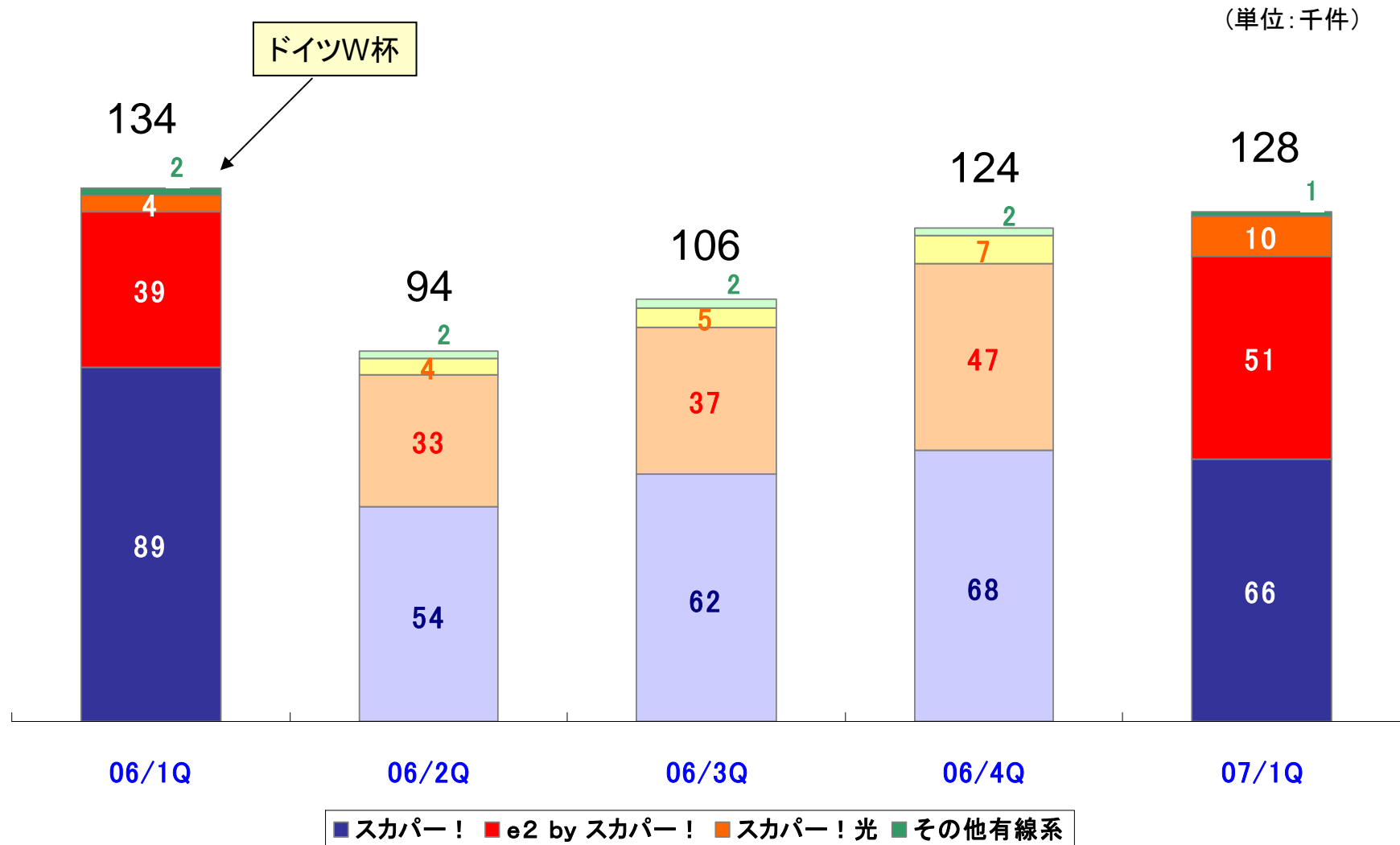
2007年度第1四半期 連結キャッシュ・フロー概要



(単位:百万円)

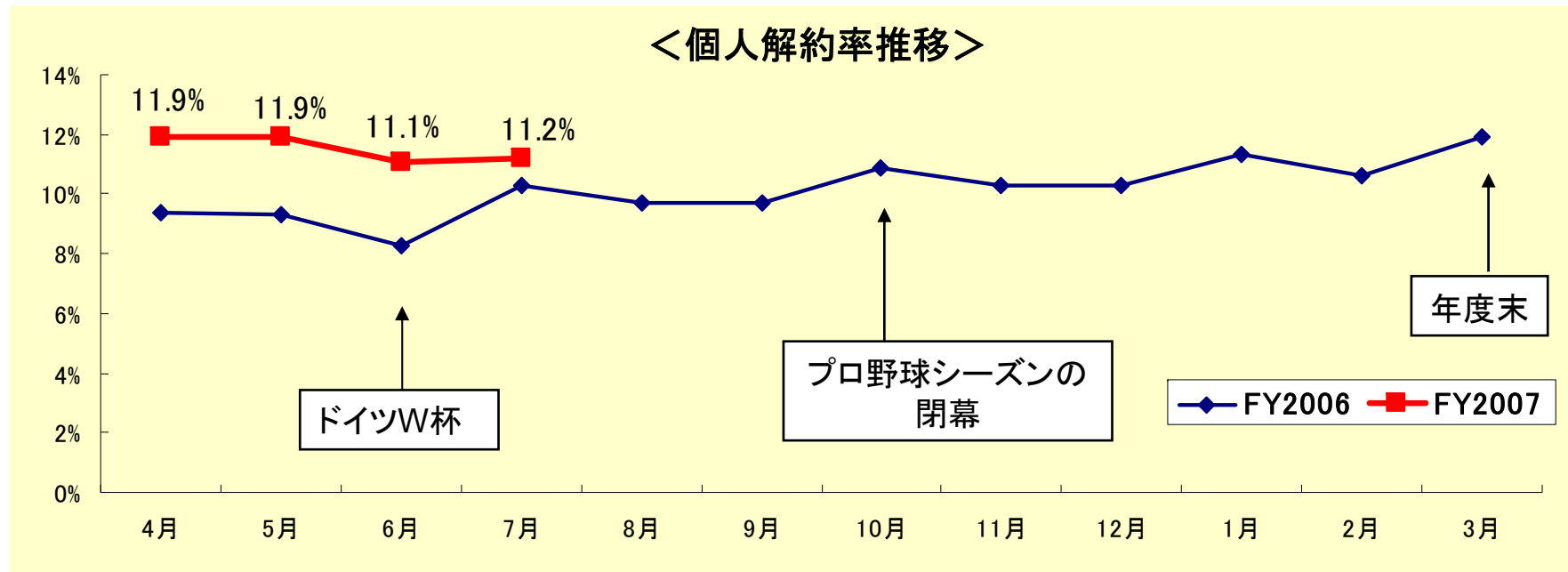
	スカパーJSAT(連結)
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,121
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,596
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,849
換算差額	△5
現金及び現金同等物の増加額	△3,330
現金及び現金同等物の期首残高	43,583
現金及び現金同等物の期末残高 (A)	40,252
運用目的投資有価証券の期末残高 (B)	28,660
総資金期末残高 (C=A+B)	68,913
借入金期末残高 (D)	66,173
ネット借入金 (D-C)	△2,740

新規個人契約件数の推移



個人解約率の推移

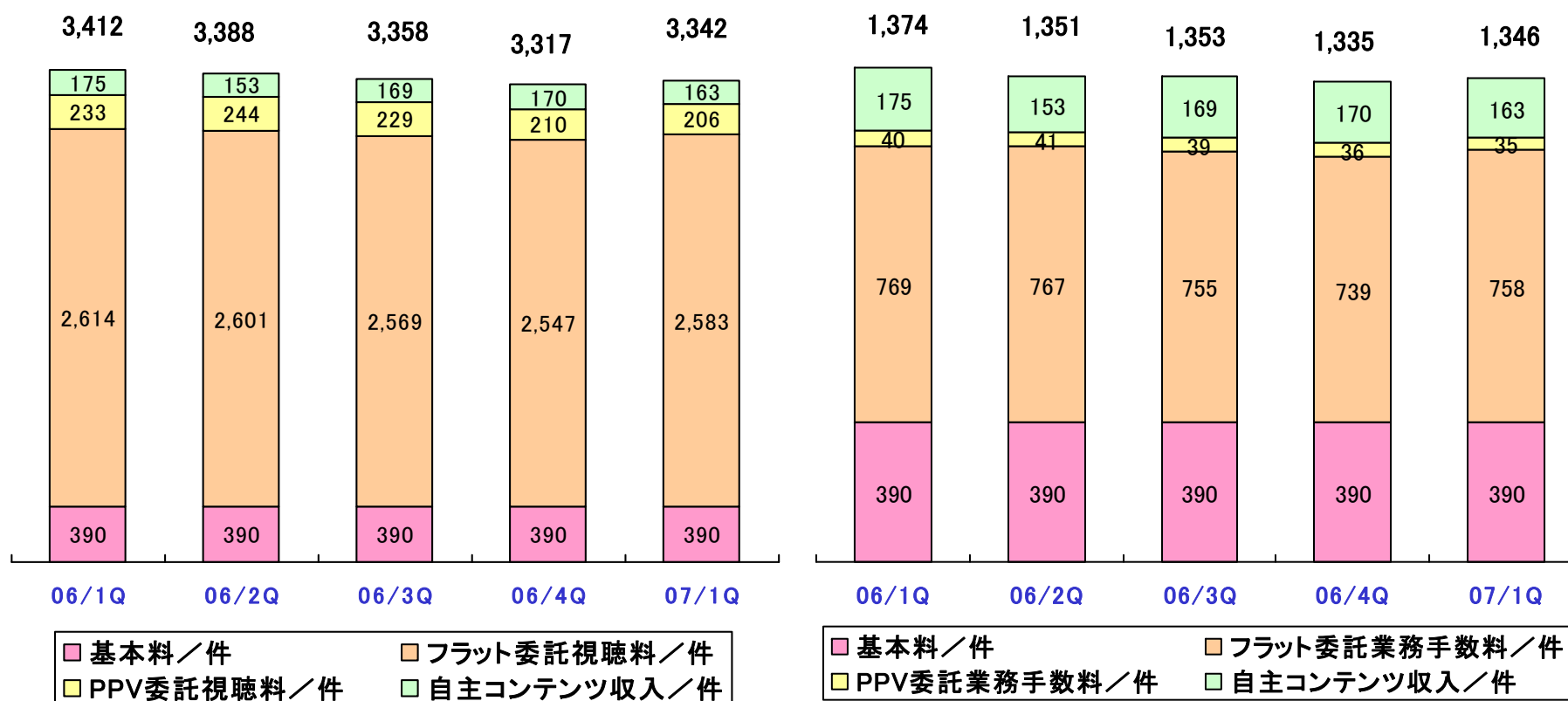
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
FY2005	8.3%	8.3%	8.8%	9.0%	8.6%
FY2006	9.0%	9.9%	10.5%	11.3%	10.2%
FY2007	11.6%				E9.2%



ARPU(スカパー！+e2 by スカパー！)

視聴料ベース (単位:円)

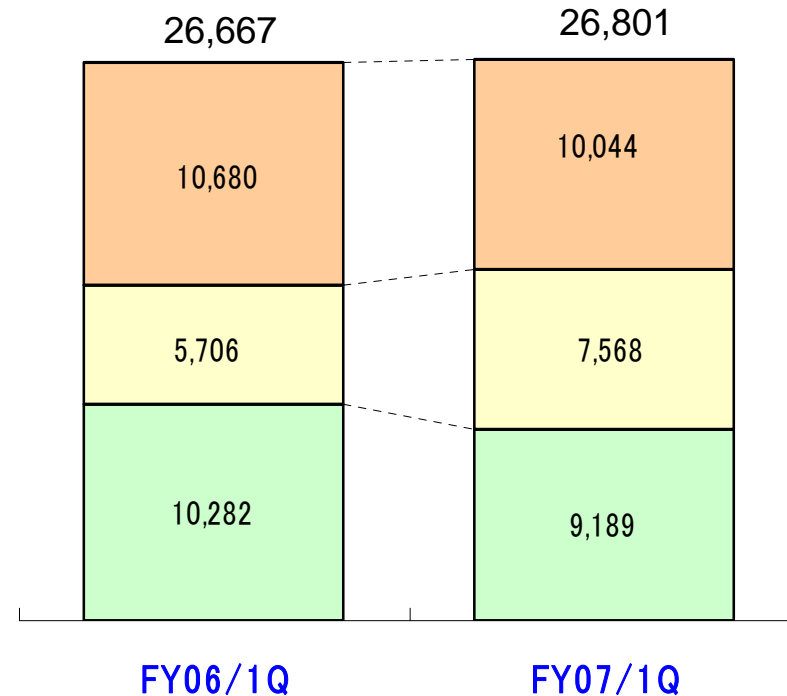
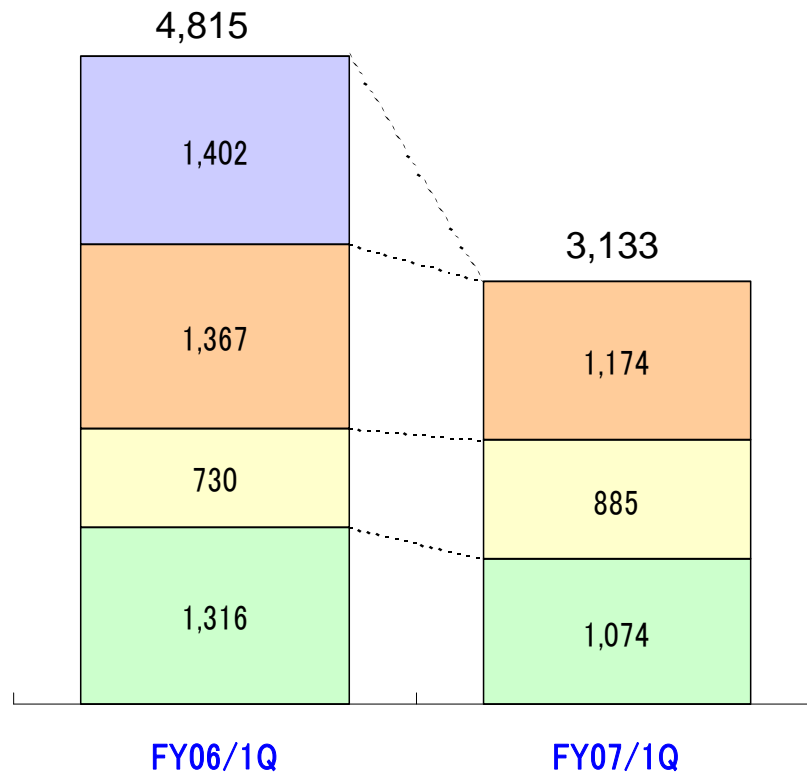
業務手数料ベース (単位:円)



SAC (スカパー ! + e2 by スカパー !)

SAC総額 (単位:百万円)

SAC単価 (単位:円)



□ 販売インセンティブ □ 販売促進費 □ 広告宣伝費 □ 無料コンテンツ費用

□ 販売インセンティブ □ 販売促進費 □ 広告宣伝費

- * 1 スカイパーフェクトTV単体とスカパーマーケティングの費用の合計ベース。
- * 2 広告宣伝費は、企業広報費を除く。
- * 3 単価は、比較のため無料コンテンツ費用を除いて算出。

今後の事業展開

お客様主義の徹底とお客様サービスの強化

<お客様主義の徹底に向けた取り組み>




- お客様主義プロジェクト（2007年1月～）
「お客様の声」に基づいたサービス改善への全社集中取り組み
- お客様満足向上委員会の設置（2007年6月～）
 - ① 当社サービスの定期的な品質評価
 - ② 全社的なお客様サービス意識の改革・向上

<お客様サービス施策>

- 引越し工事サポート（スカパー！/e2 by スカパー！）
引越しに伴いアンテナ移設を希望する加入者に、アンテナ設置標準工事相当額（¥9,450）を割引適用（実施中）
- チューナー・アンテナの設置・調整サポート（スカパー！/e2 by スカパー！）
工事業者の駆けつけサービスを準備中
- チューナー故障対応（スカパー！）
チューナー故障のお客様への廉価提供プログラムを準備中



各サービスのHD化進捗状況

サービス	現状	2007年度の見通し	中期経営計画上の施策
	3ch. [スター・チャンネルハイビジョン(ch.233)、スカチャンHV(ch.800)、J sports Plus(ch.253)]	1～2ch.追加 (9月日本映画専門チャンネルHD開始)	10ch.程度まで拡大
	—	受信機開発中 放送事業者と調整中 送信設備構築中	2008夏10ch.程度でHD開始 2009秋 30ch程度に拡大 (HDパック発売)
	地上デジタル、BSデジタルはHD対応	同上	スカパー!に準じて対応

セリエAの放送権取得とWOWOWとのセット協力

- セリエAの2007-08シーズンの日本国内CS放映権を獲得
 - WOWOWと組み合わせたサッカーセットを発売
- 質の高いサッカーコンテンツを今後も提供



(c) FAR EAST PRESS/AFLO

欧州サッカーセット+ WOWOW → 5,280円/月
(3,600円/月) (2,100円/月)

ドリームサッカーセット+WOWOW → 7,660円/月
(5,980円/月) (2,100円/月)

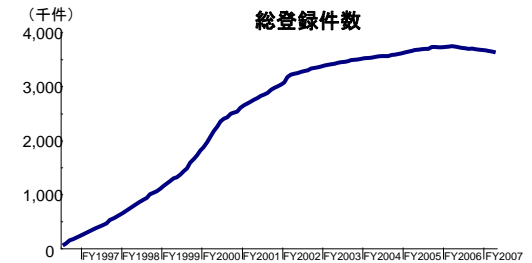
スカパー！ — 既存のコア事業



2006年度末
320万件



中期経営計画目標
2011年度末
360万件



<2007年度の取り組み>

- FY07は、加入純減を想定
- Jリーグを核としたマーケティングの推進
- WOWOWとのサッカーセットでの協力
- コンテンツを中心とした広告宣伝の展開(「●●祭り」企画等)
- 複数台割引の開始(07/5~)
- DVR等の直販開始(07/5~)

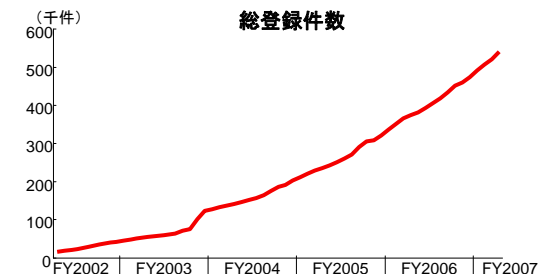
<中期経営計画上の取り組み>

- HDチャンネルの展開
2008年夏 10チャンネル程度で開始
2009年秋 30チャンネル程度に増やし、HDパックを発売
- 新しいSTBの投入
2008年 HD放送に対応したSTBの投入
2009年 高機能STBの投入
- 自主コンテンツ収支の改善
加入者獲得に効果的なコンテンツの選択と、集中的な投資

e2 by スカパー! — 受信機内蔵デジタルTVの普及で成長



2006年度末
40万件 → 中期経営計画目標
2011年度末
180万件



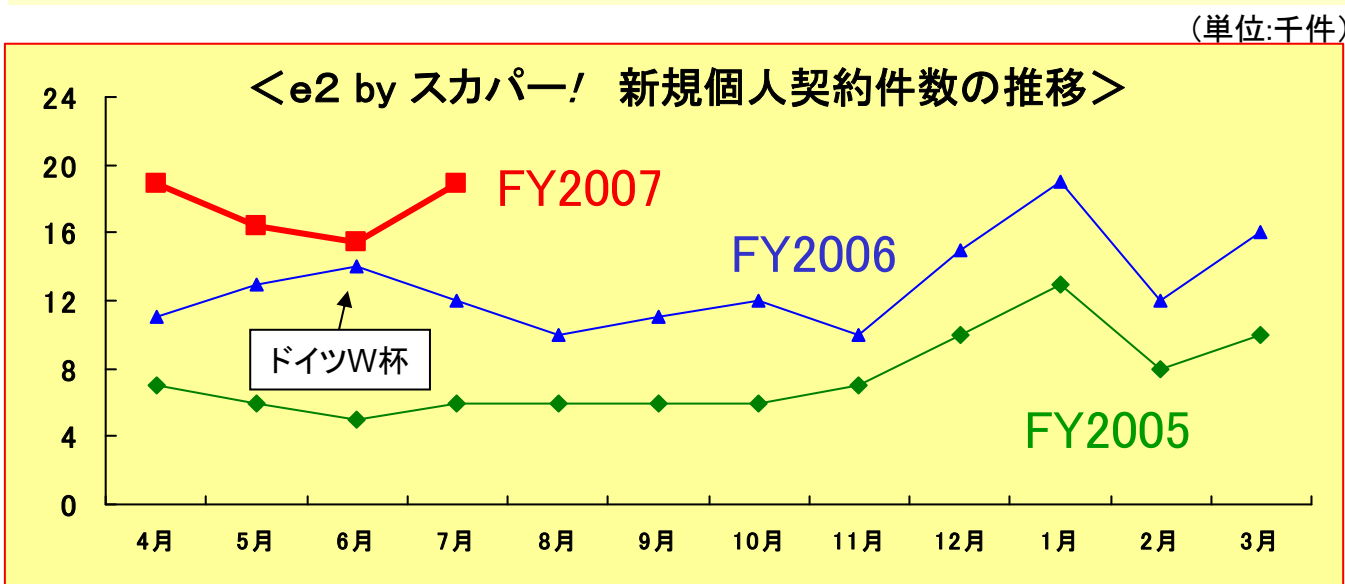
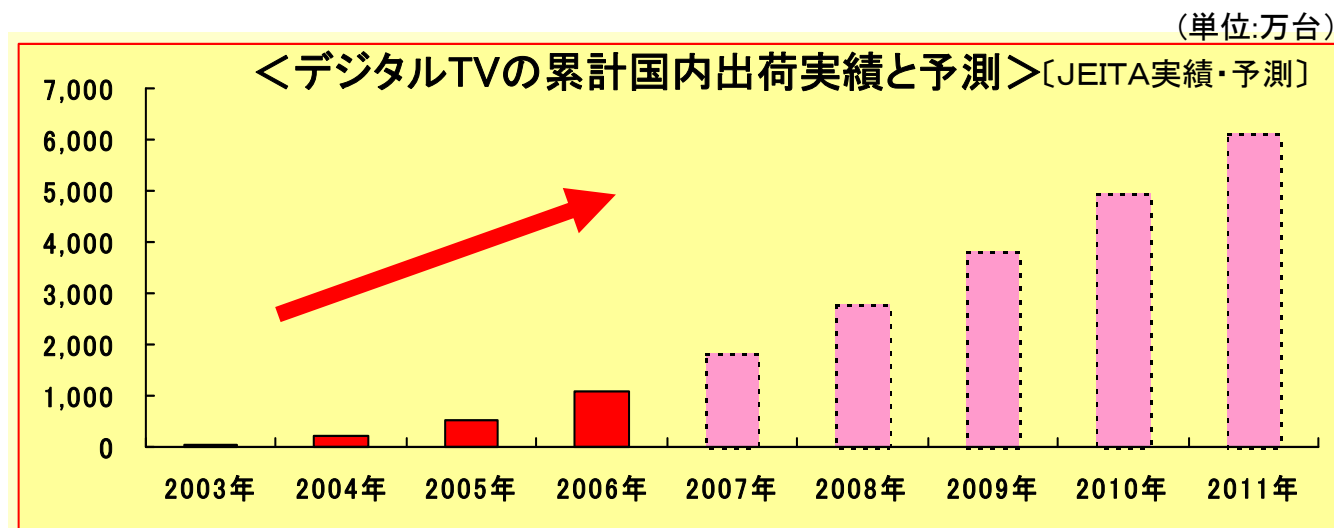
<2007年度の取り組み>

- 加入件数純増のドライバー
- Easy Entry & Easy Entertainment
アナログ停波に向けて、普及が急なデジタルテレビにチューナー内蔵。家族での視聴や団塊世代に対応したチャンネルラインアップ
- 5月よりアンテナサポート開始
- HDチャンネル
2007年7月末現在3チャンネル
9月には4チャンネルへ

<中期経営計画上の取り組み>

- HDチャンネルの展開
2008年度 5チャンネル程度に
2009年度 10チャンネル程度に
- デジタルテレビ保有者の加入を促進
サービス内容の認知度を向上する取り組み
デジタルテレビの普及世帯のうち、3.5%~4.0%程度の加入を目指す

e2 by スカパー！の伸び



スカパー！光 — FTTH (RF) による展開



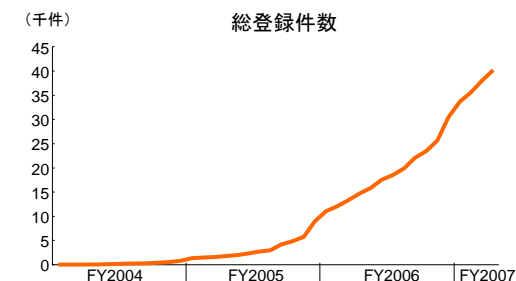
2006年度末

3万件



中期経営計画目標
(2011年度末)

80万件



<2007年度の取り組み>

- 加入件数純増のドライバー
NTTのFTTH加入者の拡大に伴って、事業拡大と成長を実現
- マンションでの優位性の維持と加入率向上
- 戸建て販売の本格推進
首都圏等のサービスエリアを拡大し、NTTや量販店経由の販売の推進。
- NTTと協力して、スカパー！光にフォーカスしたCMを放映

<中期経営計画上の取り組み>

- NTTとの共同マーケティング活動の推進
- 配信帯域の拡大とHD化
2009年 30チャンネル程度に
- NTTの推進するNGNの利用も視野に
IP放送の展開
(都市部のRFタイプとのすみ分け)

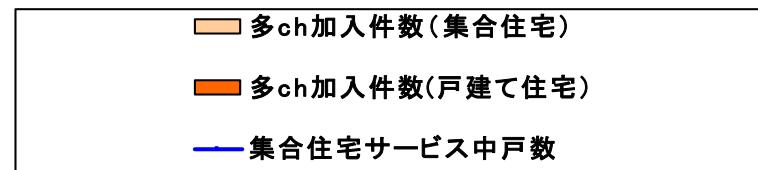
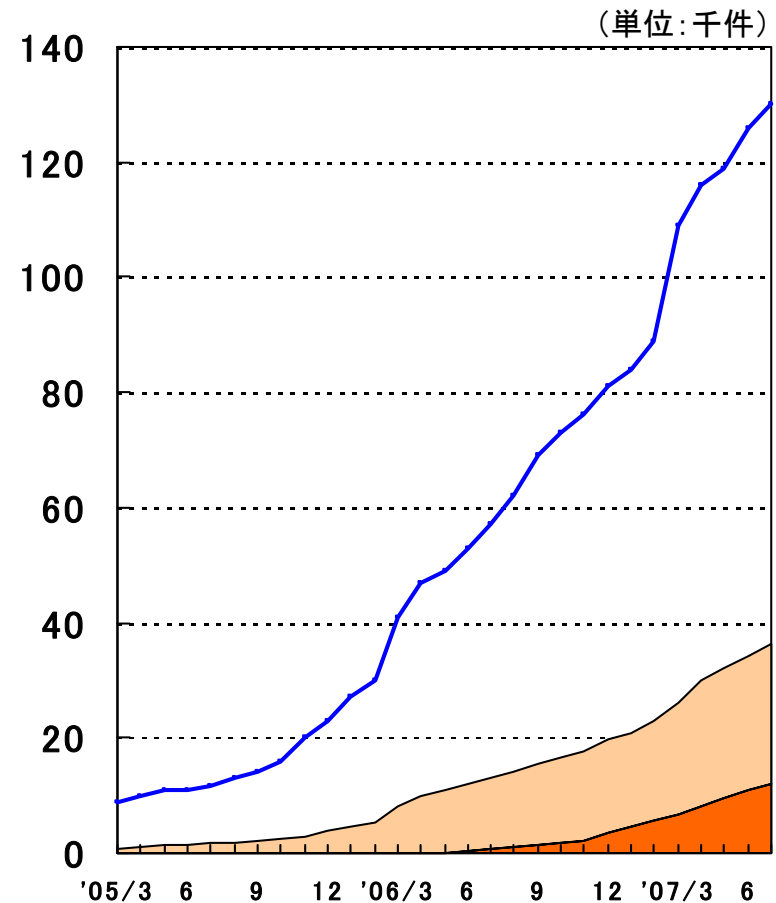
スカパー！光の加入件数推移



[2007年度第1四半期]

新規個人契約件数10千件
(累計37千件)

- NTTのFLET'S光加入拡大に伴い
マーケット拡大
- 年度末の3、4月は新規マンション中
心に増加
- 戸建ては、NTT、量販店を中心に本
格的に販促展開推進中



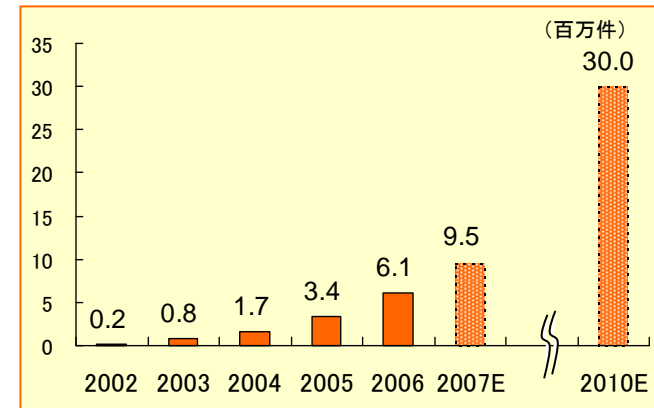
サービスエリアの拡大

首都圏での拡大によりエリア内世帯数が27%増加(874万→1,109万世帯)



首都圏エリアでは35%増加
(679万→914万世帯)

(参考) FTTH加入者の実績と見通し



(出典: NTT)

モバイル、IPへの取り組み

モバイル、
IP 他

中期経営計画上の目標
(2011年度末):
130万件

〔モバイル〕

- サッカーコンテンツをモバイル向けに配信中
- スカパー利用者が、PDA端末に視聴チャンネルを送信可能

今後の予定:

- 地上アナログ放送用帯域の跡地での展開に向けて、モバイルマルチメディアサービスの企画会社を設立。2012年以降の事業化を検討

〔IPTV〕

- オンデマンドTVとアイキャストと組んでIPTVサービスをスタート
(加入件数7.2万/2007年6月末時点)
- 2007年6月 日本語の展開を開始したYouTubeにプロモーション用のパートナーページを開設
- 2007年6月 Windows Media Centerでコンテンツの配信を開始
- 2007年7月「スカパー!動画」内にAsk.jpが開発・運用する動画投稿コーナーを開設



今後の予定:

- NTTの推進するNGNに対応した、映像配信サービスを検討

JCSAT-11 (バックアップ機の代替機)の打上げ

JCSAT-11の打上げ概要

JCSAT-11は、現在運用中のJCSAT-Rの後継機として打上げ予定。JCSAT-Rは、他のJCSAT衛星のバックアップ機として運用されている。

打上日時:

2007年9月上旬

打上場所:

カザフスタン国 バイコヌール基地

打上ロケット:

Proton M (ILS社)

衛星の主要諸元:

(1)型式:A2100AX

(ロッキード・マーティン社)

(2)中継器本数:

衛星通信サービス用 Kuバンド 30本

衛星通信サービス用 Cバンド 12本

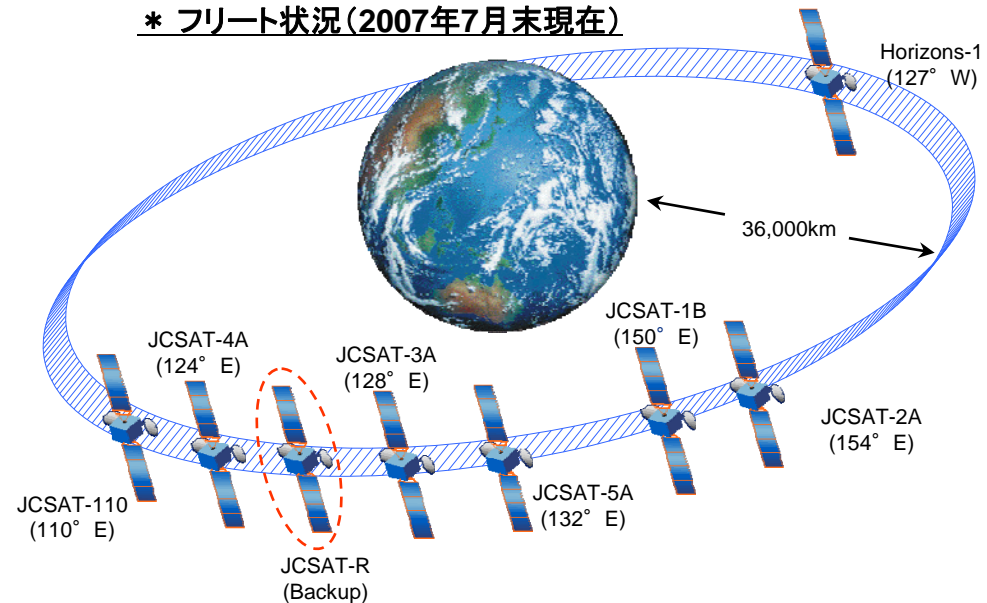
(3)カバーエリア:

日本、アジア、ハワイ、オセアニア

* JCSAT-11イメージ図



* フリート状況(2007年7月末現在)



グローバル展開の進捗

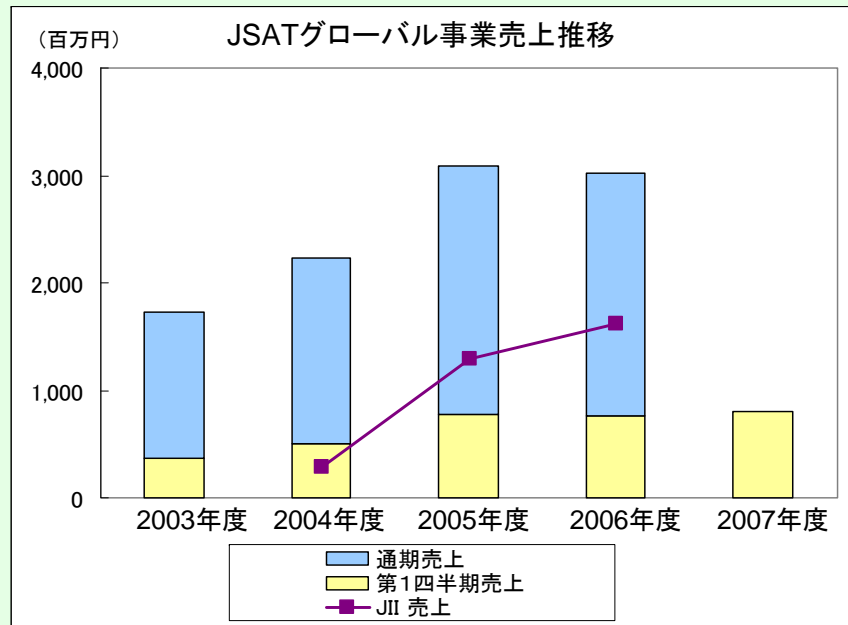
グローバルビジネスへの注力

2007年1月

香港事務所を支店化

2007年7月

JSAT International Inc.本社オフィス移転
ワシントンD.C.地区に移転し、ビジネス
パートナーのIntelsat社との連携強化。



新規共同衛星を続々打ち上げ

～ Intelsatとの協業が大きく発展～

Horizons-2打上

打上予定日: 2007年後半

カバーエリア:

米国本土、及びカリブ海沿岸地域

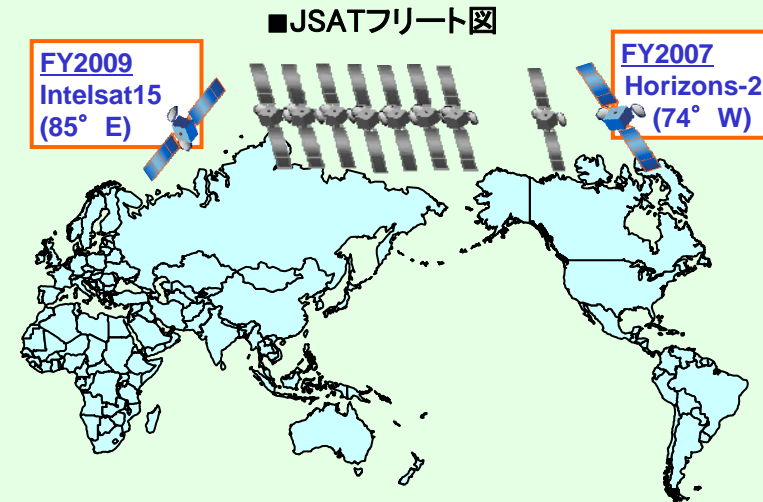
Intelsat-15打上予定*1

打上予定日: 2009年前半

カバーエリア:

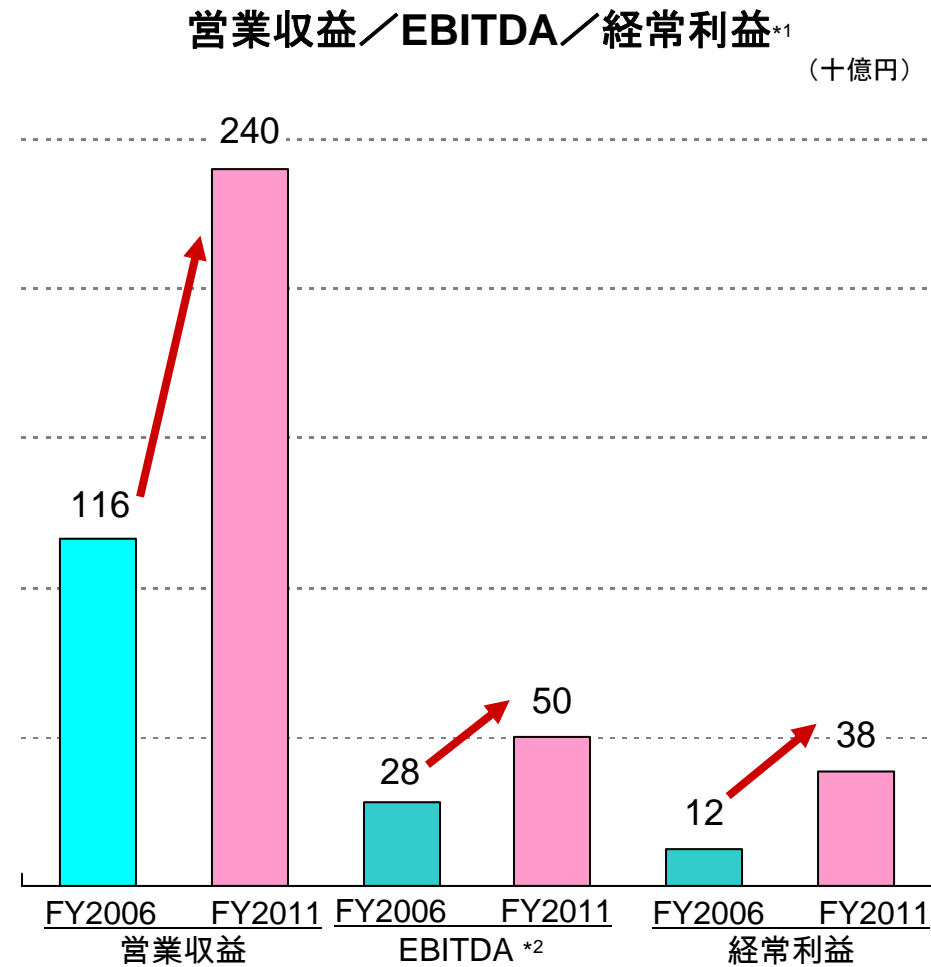
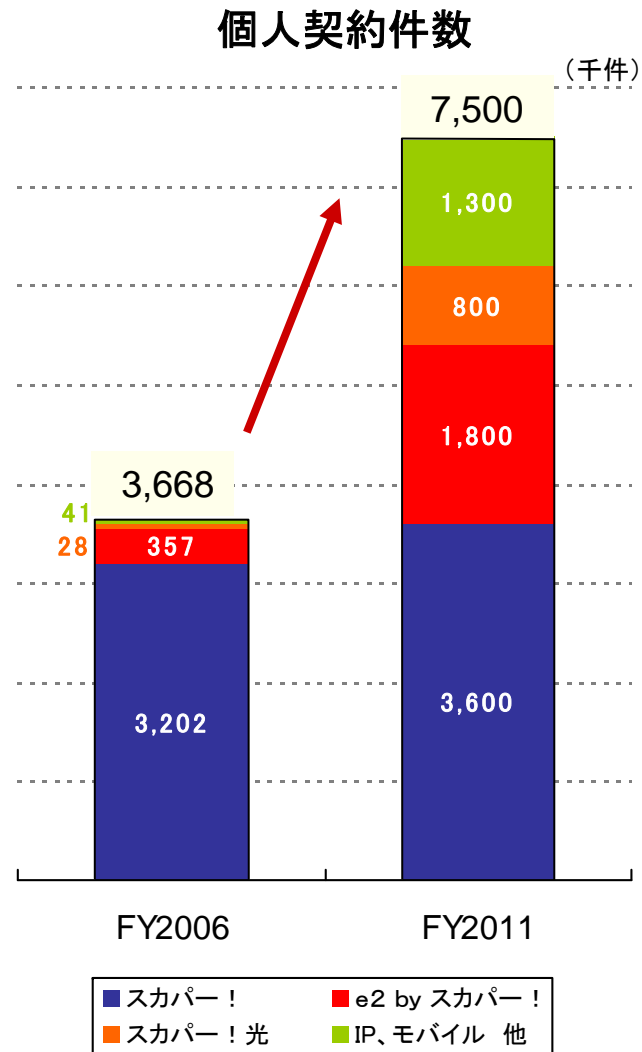
アジア、インド洋、中近東(紅海付近まで)

*1 Kuバンドを合計22本搭載し、そのうちの5本をJSATが区分保有。



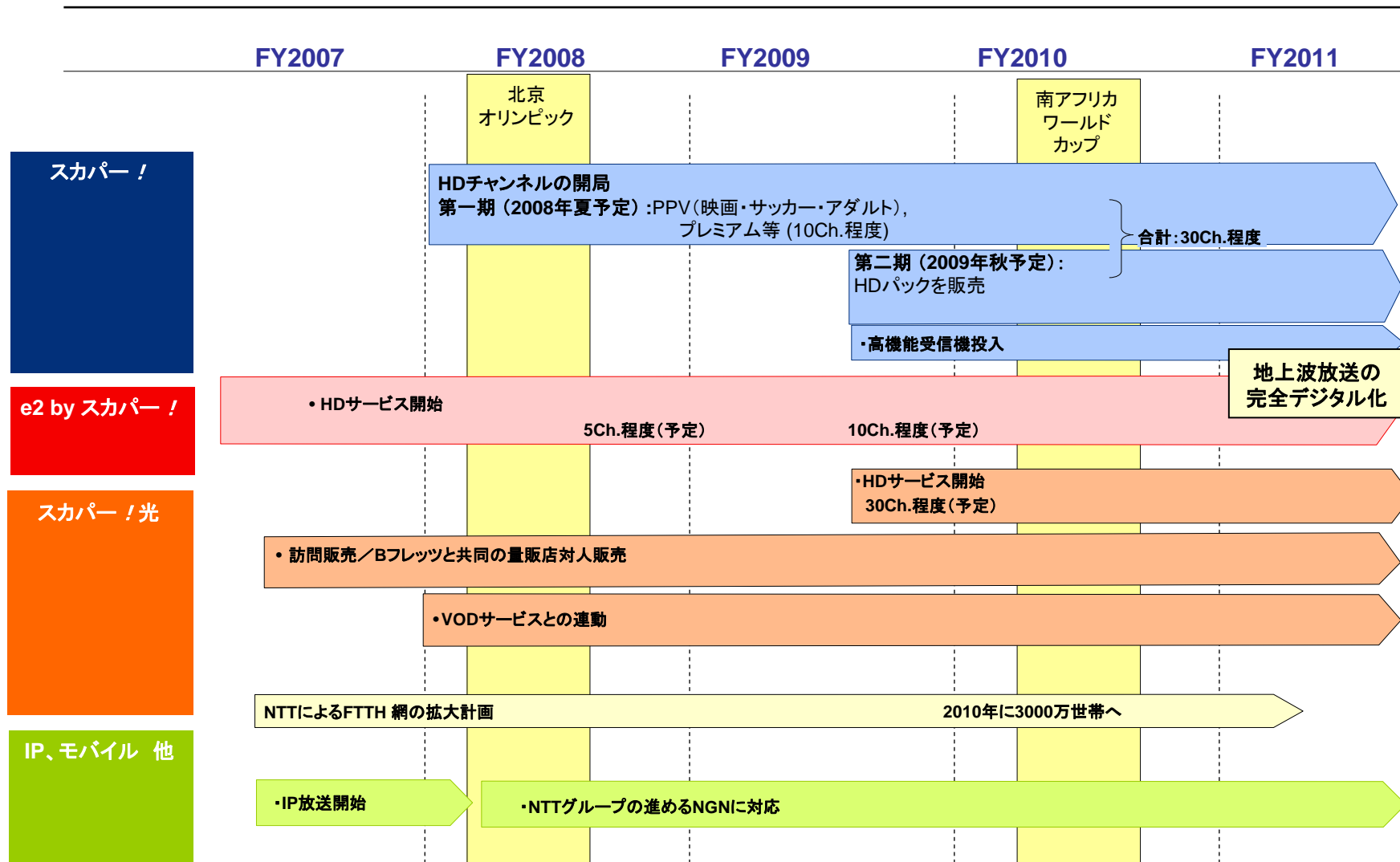
参考資料

中期経営計画 目標数値



※1 IP、モバイルサービスは含んでいません
 ※2 FY2006のEBITDAは、両社の単純合算

サービス別マイルストーン(FY2007-2011)



IR情報等に関するお問い合わせは
下記担当部までお願い致します。

スカパーJSAT株式会社 業務管理本部 広報IR部